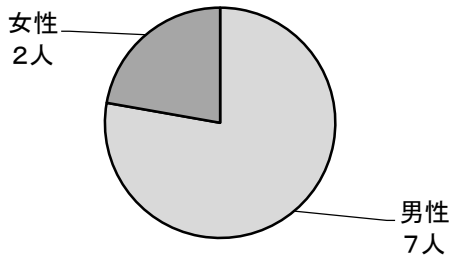


Ⅲ 近隣学校長

1 学校長のプロフィール

① 性別



回答者9名のうち男性が7名、女性が2名である。
また、全員が50代であり平均年齢は55.6歳である。

2 学校と公民館(地域)の繋がり、かかわり

① 学校を利用して実施する公民館活動、或いは地域活動

1校を除き、8校において複数の公民館活動或いは地域活動が行われている。その内容は、各種体育行事をはじめ、地域防災や人権に関する集いなど多岐に渡っている。

都市部	地域運動会、バレーボール大会、ペタンク大会、グランドゴルフ大会、スポーツ大会(子ども会(保護者)中心)
	町民運動会、地域防災イベント
	プランターの花植え、敬老会、市民運動会、夕涼会、(放課後子ども教室)
住宅部	文化祭、地区別懇談会(人権同和教育)
	学校を利用して実施する大きな公民館行事はなし。
	敬老会、ラジオ体操、歩こう会、校区別人権・同和教育研究会
小集落	三世代交流会、どんど焼き、盆踊り、秋祭り、栗まつり、子ども教室(一部)
	防災参観日・救命救急、球技大会(レクバレー)、運動会、人権の集い、敬老会
	敬老行事、チャリティソフト、納涼大会、敬老行事、地区体育祭

② 学校利用の公民館・地域行事

ア 学校、公民館それぞれの役割

3校が特になしとの回答をしているものの、残りの6校が学校と公民館それぞれの役割について、「担任を中心に参加をしてイベントを盛り上げている」「実質、教頭が地域の連携担当となり、会場提供等も含めて行事を実施している」などと言及しており、学校利用の公民館・地域行事は、概ね学校の方が地域に対して積極的に協力しているという意識が強いことが窺える。

都市部	・学校の役割・・・参加を促す。運動会等子どもたちが参加する行事については、担任を中心に参加をしてイベントを盛り上げている。 ・公民館の役割・・・多くの体験ができる
	・学校の役割・・・行事は、できるだけ授業日となるよう公民館と調整を図っている。また、行事に係るお知らせを学校通信に掲載するとともに、児童を通じて保護者に案内をするなど啓発活動を行っている。
	なし
住宅部	なし
	学校は、児童会が手作りしおりなどを作成しプレゼントしたり運動会の案内をしたりしている。
	なし
小集落	企画を学校が作成し、公民館関係者と打合せをし、スタッフ、指導者を学校に招いて実施する。その他の行事については、事業主体者からの依頼に応じる。
	ほとんどが共催のため、担当教員が公民館と連絡を密に取り合っている。保護者の力がないと行事が成り立たないし、公民館も学校の力を必要としている。
	実質、教頭が地域の連携担当となり、会場提供等も含めて行事を実施している。

イ 学校としてメリット、デメリット

(メリット)

- ・ 公民館行事に子どもたち・教員が参加することで地域の中の学校というアピールができる。(5)
- ・ 学校では見られない子どもの姿が見られる。(1)
- ・ 地域の方々に頑張りを認めてもらえれば、子どもたちの自己有用感も高まる。(1)
- ・ 子どもが多様な世代と交流・体験することができる。(1)
- ・ 予算面でもバックアップ(プランターの花植え)がある。(1)
- ・ 児童にとっても、地域の伝統文化を知る、郷土愛を育む契機となっている。(1)
- ・ 教員にとっても、地域文化を知る機会となっている。(1)
- ・ 地域の方との交流により、協働することの大切さ、勤労・奉仕や感謝の心を育てることができる。(1)
- ・ 特になし。(3)

(デメリット)

- ・ 特になし。(5)
- ・ 休日に職員が地域行事に参加した場合、代休を与えられない。(2)
- ・ 行事のたびに依頼に来られる。年度初め等に話し合い・打合せが必要。(1)
- ・ 実施主体が、学校なのか公民館なのかはっきりしないところがある。(1)
- ・ 児童の事業への参加依頼が間近になってくることがある。依頼は十分事前に行ってほしい。(1)

③ 公民館利用の学校・地域行事

ア 学校、公民館それぞれの役割

	学校行事は特になし
都市部	2年生 生活科…まちたんけん 3年生 社会科…私たちのまちの公民館
	七夕集会(1年生と老人クラブとの交流) 手つなぎボランティア(老人クラブ、地域の方との清掃活動等・・・学校行事として2時間、全校児童が参加)
住宅部	特になし
	2年生 生活科…まちたんけんでは主事さんに対応いただいている。 公民館をはじめ、子どもたちは児童クラブ、児童館、公園を一体的に利用している。
	つばめ村、ドキドキ野外活動、びっくりアドベンチャー、桜祭り
小集落	生活科や総合的な学習の時間における公民館施設訪問、館長主事への聞き取り。
	行事としてはない。公民館でしていた行事を、学校でするようにした。
	1、2年生 生活科(まちたんけん等) 3年生 社会科(公民館の仕事等)

イ 学校としてメリット、デメリット

(メリット)

- ・ 地域の方々との関わりから子どもたちのコミュニケーション力が高まる。(1)
- ・ 子どもたちの見守りにつながる。(1)
- ・ 地域の素晴らしさを理解するとともに、地域の方々の活躍の場を提供できる。(1)
- ・ 学習に保護者も参加(例えば2年生:生活科“まちたんけん”聞き取り)することで、親子で地域を知る機会となる。(1)
- ・ 同一敷地内にあるので交流しやすい。(1)
- ・ 特になし。(5)

(デメリット)

- ・ 実施主体が、学校なのか公民館なのかはっきりしない。(1)
- ・ 全員参加してほしいが、参加したい子どもが大勢いると受け皿の問題がある。(1)
- ・ 特になし。(8)

④ 学校、公民館利用以外の地域の公民館活動への関与等

都市部	お茶会、盆踊り、歩こう会等の公民館行事については参加を促している。盆踊りについては、太鼓部が出演。地域運動会は放送部が協力。文化祭は子供たちの作品100点余りを啓示。各イベントにおいては状況に応じて参加を促す。
	特になし。なお、JRC(青少年赤十字)の活動は活発である。
	特になし。
住宅部	特になし。
	特になし。
	上三館、下三館事業(校区以外の公民館活動)
小集落	特になし。
	〇〇活性化運動会…旧小学校区で実施している運動会。児童は自主参加。教員も参加。旧校区と新校区という意識がまだ残っているが、お互い助け合わなければ行事ができなくなっている。 健全育成…夏休み・冬休みの前に生徒指導に関する情報交換会を実施。 ほとんどが共催で行っている。日常的に情報交換しており、館長や主事が学校へ来たり、担当が公民館へ行ったりしている。
	6年生…たけのこ学級(自然体験活動…登山、四万十キャンプ等)、通学(藤の子)合宿(生活体験、地域住民との交流、婦人会、青年団協力)

⑤ 地域連携に関する学校側の窓口、体制、工夫等

【窓 口】

すべての学校で窓口は教頭となっている。

【体 制】

どの学校も学年活動や教科で地域と関わるときには学年主任が行っている。また、一部の学校は他の組織(愛大、日赤等)で担当を決めている学校もある。

【工夫等】

- ・ 窓口の先生とそうでない先生というより、それぞれの先生の得意不得意があるので、良さを生かした活動をしているととらえている。地域の方々との交渉が上手な先生方にはその分野を担当して、それぞれの先生の特徴を生かした教育活動を行っている。今は積極的に地域の方々と関わっていない先生は、積極的にかかわっている先生を見て学んで、そういう立場になった時に学んだことを活かして活躍してほしい。
- ・ 窓口となった先生については、保護者や地域とのパイプ役となって積極的に、関わってくれているが、窓口以外の先生方は、学校教育(子どもの指導や、保護者への対応等)に目いっぱいの状態、なかなか地域に目を向けられないのが現状である。

⑥ 公民館と連携した活動の学校教育活動(教育課程)への位置づけ

都市部	1年生…生活科「昔の遊びを体験しよう」では、公民館が地域の人材集めをしてくださる。コーディネーター的な役割を担っている。給食を一緒に食べることでつながりも深まる。 2年生…生活科「校区探検」では、公民館施設を子どもたちが訪問した際に管内の案内や公民館の仕事について説明。 3年生…総合的な学習の時間「校区めぐり」では、公民館の施設案内や公民館の役割について説明。図書館の活用方法なども知らせることから、貸出カードをつくる子どもたちも増えている。
	できるだけ、学校行事、各教科領域に位置付けている。
	社会科…公民館見学 生活科…校区探検 学校行事…手つなぎボランティア
住宅部	主に「総合的な学習の時間」
	2年生 生活科…まちたんけんで主事さんに対応いただいている。
	生活科、社会科の年間指導計画に位置付けている。
小集落	三世代交流を学校行事としている。
	ほとんどが教育課程内。
	多くは、総合的な学習の時間、生活科で位置付けている。

⑦ 地域の窓口になっている先生とそうでない先生で、地域とのかかわり方に違いはあると思われますか

- ・ 地域との窓口は、管理職が担っているのが現状である。視点が広がるため、本来であれば教務主任、各学級担任が公民館関連業務にできるだけ参加し、活躍して欲しい。
- ・ 公民館の対象住民が多く、各種団体との交流は各学年主任が個別に対応しているため、なんとも言えない。学校と公民館が密接過ぎないことが良好な関係の要因のようにも感じている。
- ・ 事前に職員会議等で協議、打合せをしておいて担当（代表）が公民館へ話をもっていくという意味で、全員が関わっていると言える。
- ・ 特になし。

⑧ 学校として、地域の公民館との繋がりがりや関わりを、今後どのように変えていきたい、或いは変えずにいたい。またそう考える理由

都市部	<p>1小学に対して1公民館ということが、つながりを深くしている。その強みを生かして今後も意見交換しながら継続して活動していきたい。</p> <p>学校側だけの要望で活動するのではなく、双方向性のある活動になるよう常に心掛けたい。その意識の元、いろいろな計画を立てることが必要。</p> <p>公民館主事さんがよく学校を訪問してくださるので、お互いの意思疎通がよくできていると思う。その結果、良い関係が続いている。</p> <p>公民館の耐震工事中は、公民館が学校の中に間借りをしていた時期があり、それが学校と公民館の繋がりを深めた一つの要因でもあると考える。</p> <p>学校と公民館等の地域とのつながり(横)と学校内でのつながりや意識統一(縦)を含む体制づくりが今後必要であると思う。ただし教職員に強制はできない。</p> <p>本校は校区外通学の子どもの多いことから、オープンなイベント(だれでも参加できる)のものがあれば、地元の校区で地域に関われない子どもも親も多くの方々と交流ができる。</p> <p>2つの公民館、愛媛大学の連携で行われている土曜日を活用した活動「わくわくチャレンジ」が月1回程度行われている。多くの体験ができ、すばらしいイベントであると思う。</p>
	<p>公民館を核として、学校もさらに、地域とつながっていききたい。</p> <p>その理由は、学力向上にも、学校全体の運営にも、地域とのつながりで、さらに良くなると思うから。</p> <p>例えば、これから取組みが活発になると思われる英語教育。</p> <p>以前勤めていた学校で英語に関するボランティアを募ったら、思っていた以上に集まっていた。</p> <p>今後は、他分野についても社会総がかりで子どもたちの学びの支援を行っていききたい。</p>
	<p>今のところ、うまく連携していると思うが、今後はさらに各行事の目的を明確にして、どちらにもメリットになるよう、前もって話し合いを密に行う。その理由は、(伝統かもしれないが)学校に各団体からの依頼が多い。可能な限り受け入れているが、今後は児童や教職員の負担にならないように考えなくてはならない。</p> <p>当公民館は、主事、職員とも女性。力仕事等るとき、大変ではないだろうか。今年度より市は公民館主事が嘱託化され、行事をこなすのに精一杯で新しい事業を計画するまでには至っていないような気がする。</p>
住宅	<p>変えずにいたい。その理由は、地域が学校を大切にし、教育活動を尊重している。</p> <p>各分館が自地域の子どもを大切にしている。</p>
	<p>公民館が、地域のコミュニティの核であり、地域交流の拠点であり続けて欲しい。その理由は、どの地域においても、人間関係が希薄化していると感じるため。</p> <p>学校からの一方通行にならないよう心掛けたい。教職員も、できる限り積極的に社会教育主権の事業に参加させたい。その理由は、学校からのお願いは、聞いてくれるのが当たり前と考えている教職員がいるのが現状である。また、係同士の内諾ではなく、まずは、校長から施設長への連絡等、社会の常識から考えなくてはならない。教職員も、学校から一歩外に出れば一社会人であるという意識をもつことが大切である。</p>
小集落	<p>公民館のみならず、地域の人々と関わってお世話になっている。今後もそのような願いである。その理由は、現状に満足している。</p>
	<p>地域とのつながりは深く、しっかりとできている。今後、地域の方の世代交代がうまくいくかどうかは課題である。今、学校に関わってくださっている方の後継者を育て行かなければならない。</p> <p>精選したり統合できる行事は統合したりしていきたい。その理由は少子化に伴い、子どもや教職員一人あたりの活動の比重が大きくなっているため。</p>

3 公民館運営審議会

① 委員の選出方法、参加状況

	選出方法	参加状況
都市部	特にないが引き継ぎが恒例となっている。 公民館から学校長あてに依頼が来る。	毎回出席。年2回。 年度当初と年度末。
	小学校長が自動的に就任している。	参加している。 (概ね6月, 10月, 3月の年間3回実施)
	校長が公民館運営審議会委員となるが決まっている。 外2公民館の運営審議会委員にもなっている。	参加している。(外2公民館運営審議会にもできる だけ参加するようにしている。)
住宅部	ない。	参加している。
	小学校長が公民館運営審議会委員になるが決まっている。	特別な用務以外は出席するようにしている。 (年間3回)
	昨年度まで、学校関係者は、委員に選ばれていなかった。	今年度から、教頭先生を委員に選んでいただく ことができた。
小集落	小学校長が自動的に就任している。	参加している。
	小学校長が自動的に就任している。	参加している。
	本町は1館1審議会であるため、該当地区の小学校長が自動的に 就任している。	可能な限り参加している。 (年間開催回数: 5月, 2月)

② 最近の発言、提言と対応状況

- ・ 子どもたちの現状の報告
- ・ 防災フェアにおける準備、参加周知に関すること。サマーフェスティバル（公民館まつり）のトランペットクラブの参加協力など
- ・ 学校と公民館が同じ敷地にある。学校は安全のため、校門を閉めている。公民館利用者は、出入りの際、その都度、校門の開け閉めをしなくてはならず不便をかけているのではないかと。→その結果、委員から児童の安全面が一番だという理解ある声をいただいた。
- ・ 各公民館行事について、学校で協力できる内容を発言している。
- ・ まだ1回しか参加していない。
- ・ 運動会について。
- ・ 新しく建て替える校舎のことについて。
- ・ H27年度児童数が50名を下回るため、地域の体育祭と学校の運動会を合同で実施することを提案し承認された。

③ 公運審の良い点

- ・ 委員にはいろんな分野の方がいらっしゃることで、多様な角度からの意見が聞けて大変参考となる。その意見を学校運営に活かしている。
- ・ 公民館関連行事の在り方、小学校体育館・運動場等の施設管理の方法などについて、その都度、主事さんに忌憚のない意見を進言している。
- ・ 学校からの要望を伝えられるとともに、地域からの要望等も聞ける。
- ・ 建設的な意見をいただいているので、運営のバランスがとても良い。

④ 公運審に改善を希望する点

- ・ 委員の年齢が高い。
- ・ 役をしてその大変さがわかるので、多くの方に役員をしてほしい。
- ・ 高校、大学となると地域から離れる傾向にある。家庭の力で若者を取り込んでほしい。
- ・ 地域防災の意識高揚のための自治会との連携の在り方、国の動向等を知りたい。
- ・ 学校が関係する事業について早めに情報提供いただきたい。

⑤ 今後、公運審が目指すべき方向と期待する役割

- ・ 公民館ととても良い関係があるので、現状を継続していきたい。
- ・ 愛媛大学露口教授のソーシャルキャピタル（社会関係資本）の研究に感銘を受け、現在、共同でその研究に取り組んでいる。これからの時代、ソーシャルキャピタルの構築に向け、社会総がかりが目に見える形で、学校・家庭・地域の方々の教育への参加・参画を強く求める。まずは、人と人、そして組織と組織が結びつくように尽力したい。
- ・ 公民館は非常に利用率が高い。今後も、委員一人一人が自覚を持ち、活動を見つめる必要がある。
- ・ 公民館に集まるという目的はイベントで達成できるため、地域全体で「学ぶ」という視点・姿勢にシフトして欲しい。
- ・ 女性の委員への参加割合が少ない、審議委員の女性の割合を増やすことで公館事業について、女性の細やかな視点も生かせるのではないかと考える。
- ・ 以前の勤務校が廃校になってしまう際、地域の方々から「学校がなくなるのであれば、公民館は必ず残して欲しい」との強い声があった。

4 公民館、行政(国・県・市町)への希望・要望

① 市町に対する希望や要望

- ・ 統廃合が進んで、学校のない地域ができてきている。青少年健全育成のためにも、公民館は必ず残して欲しい。
- ・ 公民館として固有の施設がないため、子どもたちが公民館を身近に感じられていないような気がする。使用できる施設があれば、もっと公民館を利用したいという気持ちが高まってくると思う。

5 新企画のアイデア

- ・ お互いが気持ちよく継続して活動していくことが重要である。
- ・ ハードよりもソフト、心のつながりが深まるような事業を期待する。ただし、具体的な提案はできない。検討中。
- ・ 体験活動を多くさせたい。
- ・ 防災についての意識が低いように感じる。この点についても力を入れてほしい。
- ・ 不明。ただ、子どもだけの教育では不十分だと感じる。地域全体で、地域への愛着がわくような事業展開を期待する。
- ・ 公民館が中心となり、地域と親が企画する事業を企画してほしい。（子どもたちに、やりぬく力を育成するようなもの）
- ・ 学校だけではできないようなことを子どもたちに体験させてほしい。（1泊2日程度の体験活動等）
- ・ 地域の人が足を運んでくれるような行事を企画していきたい。〇〇町以外に出ている〇〇出身者の方が、その時だけでも返ってきてくれるような行事ができたらいい。
- ・ PTAのまとまりがとてもよく、PTAを卒業してからそのまま地域の役員として活躍してくれている人も多く、つながりができている。公民館長・支援本部コーディネータが、子どものためということを常に考えてくださっており、ありがたい。
- ・ 具体的な案があるわけではないが、良いものを実施しようとすれば予算が必要である。